DuMA ニュースレター *2020年9月28日*

御岳噴火から丸6年

2014年9月27日、御岳が水蒸気噴火が発生し、死者・行方不明者合わせて63名を出す大きな被害となりました。実は噴火規模は極めて小規模だったのですが、1)9月の紅葉シーズン、2)土曜日の昼どき、3)晴天という登山客が極めて多い時に発生した事が被害を大きくしたのです。

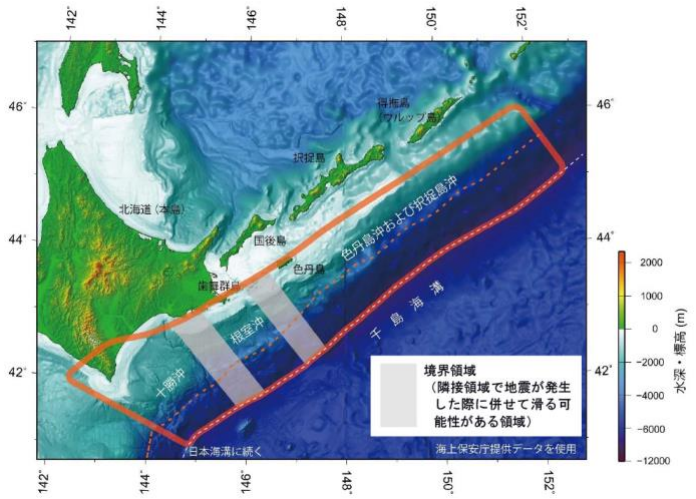
当時、名古屋大学では山頂付近での微小地震活動が増加していた事を認識し、その情報は気象庁にも届いていたのですが、気象庁には火山の専門家が少なく、情報を活用する事ができませんでした。

また火山観測は現在、大学・防災科学技術研究所(いずれも文科省主管)と気象庁(国交省主管)で行われています。データはいずれも公開されているのですが、専門家でも極めて見つけにくい場所に掲載されています。

現在、新しい内閣でデジタル庁について議論されていますが、このようなデータを一般住民が発見しやすいポータルサイトに集約する事もある意味縦割り行政の打破なのではないでしょうか。またこのようなデータはそれぞれの火山の観光情報のページにこそ掲載されるべきで、さらに易しい解説が一緒に示される事も防災対策と考えます。

東京電力・福島第一原子力発電所で新たな防潮堤が完成

東京電力は25日、今後高い確率で発生する事が予想されている北海道東部沖のプレート境界「千島海溝」沿いで想定される超巨大地震の津波に備え、福島第1原発で昨年9月から建設してきた高さ11メートル、全長約600メートルの防潮堤が完成したと発表しました。この工事は、政府の地震調査委員会が2017年に公表した長期評価を踏まえた対応となっており、想定した津波の最高水位は10．3メートルとなっています。



内閣府が想定している千島海溝沿いの巨大地震

地震の規模　：M8．8程度以上
地震発生確率：30年以内に、7%～40%
地震後経過率：1．01～1．19
平均活動間隔：約340～380年
最新発生時期：17世紀

しかし今年4月に内閣府有識者会議が出した新たな日本海溝沿いの地震に伴う津波想定では、今回完成した防潮堤でも防げない恐れがあり、東電はこの防潮堤を海抜13～15メートルにする工事を行いたいとしています。

北海道は歴史文書が少なく、巨大地震の再来間隔が明らかになっていませんでしたが、近年の津波堆積物の解析により、実は(超)巨大地震が繰り返し比較的短い期間で発生していた事が明らかになってきたのです。

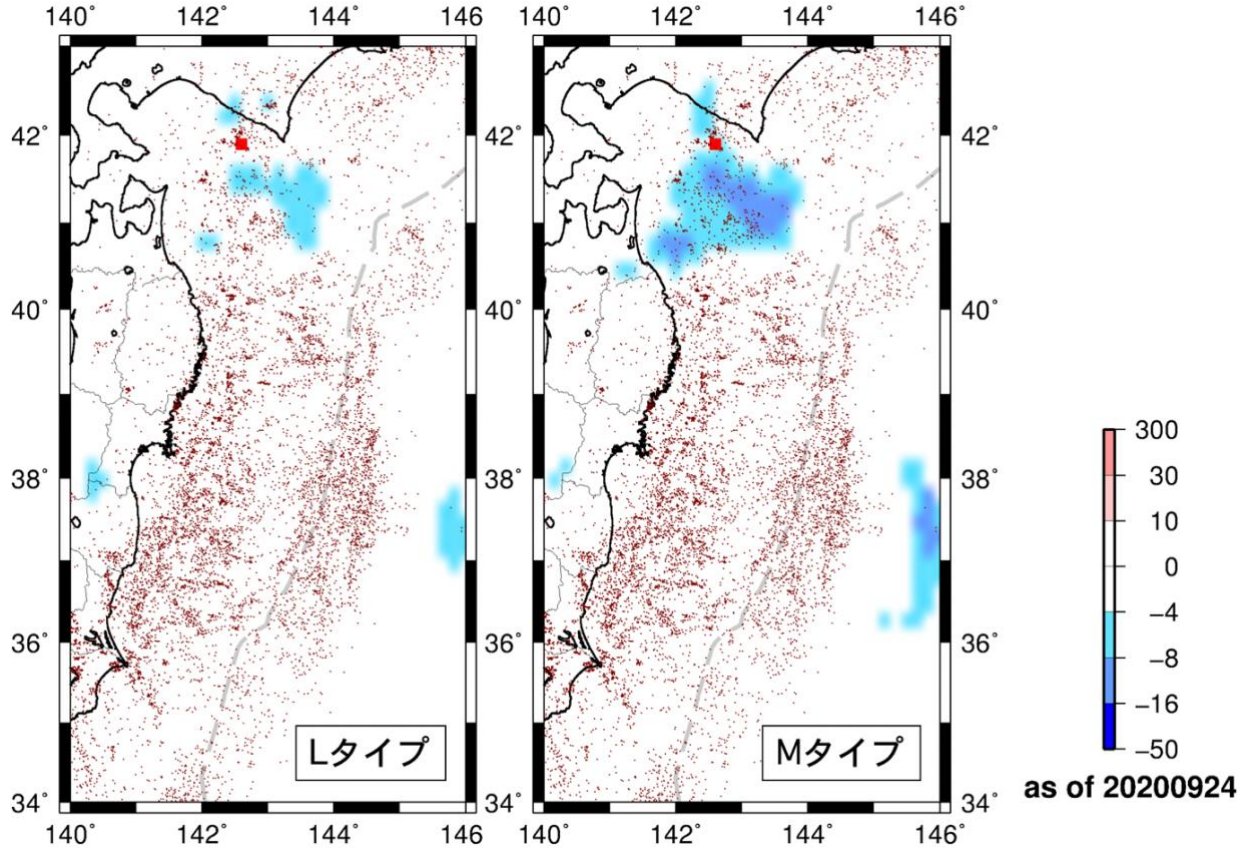
DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、**DuMA**は一切責任を問わないものとします。　提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。　**DuMA**ニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。　ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。(個人会員) ― 記事の無断転用は禁止します。― 本掲載記事の著作権は**DuMA** Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は **DuMA**が独占ライセンスを受けている登録商標です。

東北地方海域の地下天気図®

８月１７日のニュースレターに引き続き、東北地方沖合の海域（含：一部陸域）で発生するマグニチュード7クラスの地震に特化した解析です。現在、この解析で最も顕著な異常は襟裳岬周辺における静穏化異常です。

前回の解析ではかなり明瞭な静穏化が観察されましたが、今月の解析では、その異常が少し回復傾向にある事がわかりました（沖合ではまだ回復傾向とは言えない）。

次にお示しする図は9月２４日時点のＬタイプおよびＭタイプ地下天気図です。

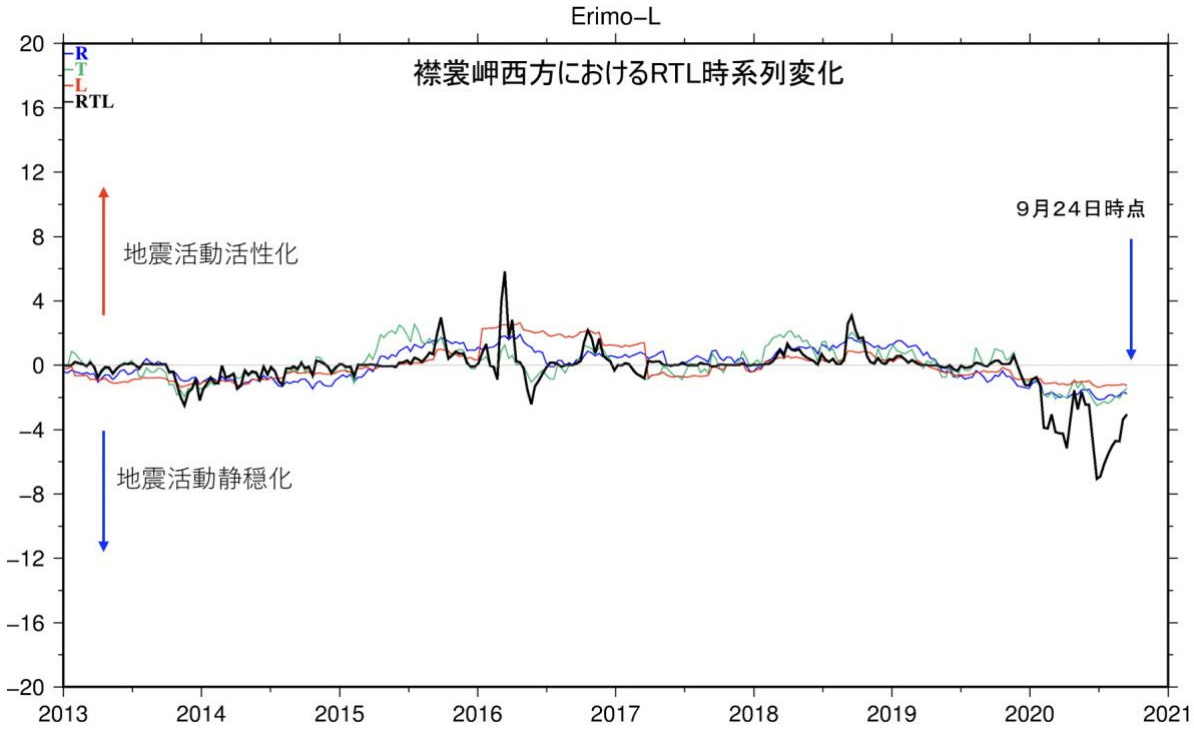


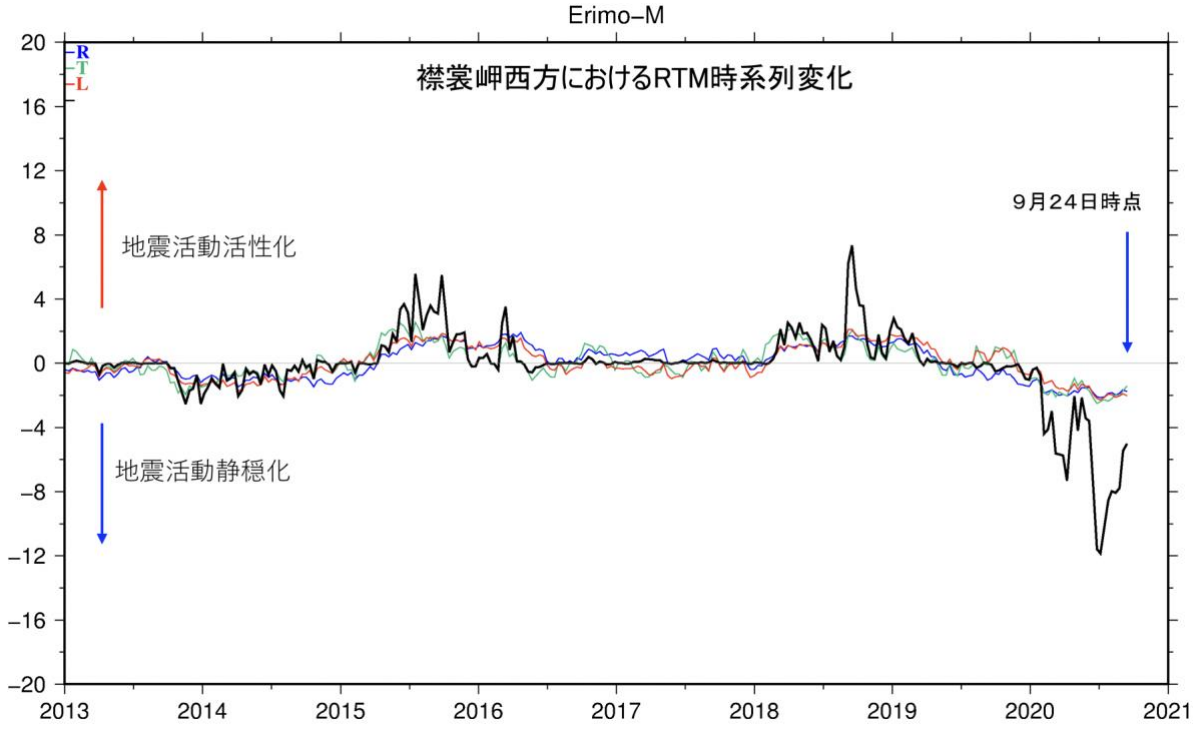
重要なのはＬタイプ、Ｍタイプいずれも同様な異常が出現している事です。また異常の中心が少し沖合に移っているようにも見えます。

なおこの静穏化に対応する地震は、今週福島原発の防潮堤のトピックで触れました千島海溝沿いの巨大地震とは別のものです。

次のページに9月２４日までの図中の■の地点のＬタイプおよびＭタイプの時間変化曲線をお示しします。また地震は異常の中心より、異常の周辺部で発生する事が多い事も経験的に知られています（グラフのゼロ（中央の水平線）が異常が無い事を意味している）。

DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、**DuMA**は一切責任を問わないものとします。　提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。　**DuMA**ニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。　ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。（個人会員）―　記事の無断転用は禁止します。―　本掲載記事の著作権は**DuMA** Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は **DuMA**が独占ライセンスを受けている登録商標です。





DuMAが提供する情報については、万全の注意を払って掲載していますが、その開発中のアルゴリズムから計算される情報に対しては完全性・正確性・最新性・有用性などを保証するものではありません。ユーザー様に生じたいかなるトラブル・損失・損害に対しても、**DuMA**は一切責任を問わないものとします。　提供する情報の利用に関しては、ユーザー様ご自身の責任において行っていただきますようお願いいたします。　**DuMA**ニュースレターで提供いたします「地下天気図®による地震情報」の無断転送・転載・2次利用はご遠慮ください。　ご利用は原則としてご契約様ご本人とそのご家族の方への情報共有までとさせていただきます。(個人会員) —　記事の無断転用は禁止します。—　本掲載記事の著作権は**DuMA** Inc.が保有しております。© 2016 DuMA Inc. All Rights Reserved. 地下天気図®は **DuMA**が独占ライセンスを受けている登録商標です。